

教員プロフィール

山本 尚利(ヤマモト ヒサトシ)



職位

教授

専門分野

技術経営論、技術戦略、研究開発マネジメント

講義科目

グローバル・テクノロジー・マネジメント

Global Technology Management

先進技術企業の経営戦略

MOT for Advanced Technological Corporations

経歴

| | |
|-------|---------------------------------|
| 1970年 | 東京大学工学部船舶工学科卒業 |
| 1970年 | IHI(石川島播磨重工業)入社 |
| 1986年 | 米国非営利法人 SRI インターナショナル東アジア本部入所 |
| 2003年 | 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻 専任客員教授 |
| 2004年 | 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻 教授 |
| 2006年 | 工学博士(技術経営戦略学、東京大学) |
| 2007年 | 早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻 教授 |

対外活動

研究・技術計画学会編集委員

研究業績一覧

日本語

https://www.wnp7.waseda.jp/app/ip/ipi0211.html?lang_kbn=0&kensaku_no=1686

英語

https://www.wnp7.waseda.jp/app/ip/ipi0211.html?lang_kbn=1&kensaku_no=1686

主要著書一覧

[著書]

『テクノロジー・マネジメント』1991年、『中長期技術戦略プランニング・ガイド』1992年、『技術投資評価法』1993年、『日本人が東アジア人になる日』1995年、以上日本能率協会マネジメントセンター(JMAM)、『スーパーベンチャー戦略』同友館、1999年、『米国ベンチャー成功事例集』アーバンプロデュース社、2000年、『ナレッジマネジメントによる技術経営』同友館、2001年、『技術ナレッジマネジメントシート』2001年、『米国先端ナノテクノロジーの最新開発動向事例集』2002年、『実践 MOT』2003年、以上新技術開発センター、『MOT アドバンスト:技術戦略』JMAM、2003年、『日米技術覇権戦争』光文社、2003年、『情報と技術を管理され続ける日本』ビジネス社、2008

[共著]

『MOT 入門』JMAM、2002年、『最新技術評価法』日経 BP、2003年、『MOT アドバンスト:新事業戦略』JMAM、2004年、『技術経営の挑戦』ちくま新書、2004年他

研究テーマ

技術戦略策定法、技術評価法、未来製品コンセプト創造法、技術ナレッジマネジメントの構築法、ハイテク・ベンチャー技術経営の研究

メッセージ

私は MOT (技術経営) 論を担当し、スタンフォード大学スピンオフ・シンクタンクの SRI インターナショナル(SRI)において、ウィリアム・F・ミラー博士(有名なシリコンバレー貢献者で SRI の元 CEO およびスタンフォード大学ビジネススクール教授)などによって開発された MOT 方法論およびその実践的応用事例を提供します。さて、なぜ私が MOT 論を担当できるかということ、SRI 東京オフィスにて 17 年の MOT コンサルティング経験を有しており、その経験が活かせるからです。なお、私は 2006 年、東京大学より工学博士号(技術経営戦略学)を授与されています。

プロジェクト研究

グローバル・テクノロジー・マネジメントの研究 [MOT]